

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 2年 3月 18日

事業所名 ぷっちいさだ

保護者等数(児童数) 21名 回収数 19 割合 90%

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた 対応 |
|------------------|---|----|---------------|-----|-------|--|-----------------------------------|
| 環境・ 体制整備 | 1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 13 | 5 | | 1 | 各部屋は狭いかなと思うが、外出等があり工夫されている。 | 引き続き、外出活動やレクリエーション活動などを取り入れていきます。 |
| | 2 職員の配置数や専門性は適切であるか | 17 | 1 | | 1 | 安心できる人数配置です。 | |
| | 3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか | 12 | 4 | | 3 | | |
| 適切な 支援の 提供 | 4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか | 19 | | | | 疑問に思った事は直ぐに対処してくれるので満足しています。 | |
| | 5 <u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか | 19 | | | | | |
| | 6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | 13 | 4 | 1 | 1 | | |
| 保護者 への 説明等 | 7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 19 | | | | | |
| | 8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状態や課題について共通理解ができているか | 19 | | | | 送迎時に伝えてくれるので話し合って子供のことを決めたりできる。 | |
| | 9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 19 | | | | 共にどうすればいいか考えてくれる。 | |
| | 10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 13 | 4 | 2 | | クリスマス会で他の保護者とお会いできた。普段会えない方と接することができた。 | 今後も定期的に交流会を開催していきます。 |
| | 11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 15 | 3 | | 1 | | |
| | 12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 19 | | | | | |
| | 13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 14 | 4 | | 1 | HPのアドレスを教えてください。 | 契約の説明時でのお伝え、及び毎月のお便りに掲載します。 |
| | 14 個人情報に十分注意しているか | 18 | | | 1 | | |

| | | | | | | | |
|---------|----|---|----|----|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 15 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか | 6 | 11 | 1 | 1 | |
| | 16 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 7 | 11 | | 1 | 夏休みに避難訓練を実施したと記載があった。体験させてもらえてよかった。定期的に行っているかはわからない。 地元消防署に依頼し、総合訓練を行ったり、児童とともに長期休暇中に自主訓練を実施しました。今後は定期的に行っている研修及び訓練等の活動をお知らせします。 |
| 満足度 | 17 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 18 | 1 | | | |
| | 18 | 事業所の支援に満足しているか | 19 | | | | |

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年 3月 18日

事業所名 ぶっついさくらだ

| | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|--|--|----|---------------|-----|--|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | | | ○ | | 広い空間は少ないが、各居室の数はある。個別に児童に寄り添った支援を行う。小集団・個別の支援を充実させていきたい。 |
| | 2 職員の配置数は適切である | ○ | | | | |
| | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | | ○ | | | 玄関の段差が高めのため、付近にいる児童への声掛けをしたり、玄関下にはマットを引き、落下時の衝撃を和らげるようにしている。 |
| 業務改善 | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | ○ | | | | |
| | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | | 長期休み時の活動や利用についてのアンケートを実施している。長期休み明けにはその結果についてのミーティングを開き、振り返りを実施している。 | |
| | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | 毎年、法人HPの適所に更新している。 | |
| | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | | ○ | | 外部機関の第三者評価を受けられるよう、来年度は評議員の方の見学の機会やご意見を頂く機会を設け、準備したい。 |
| 適切な 支援の 提供 | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | | 外部研修は社員・パートに限定せず可能な限り全職員で参加している。また、毎月の内部研修は全職員で行っている。 | |
| | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | | |
| | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | | | |
| | 11 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | | 月に数回、職員全体で活動内容の立案、内容の確認、以前の活動の振り返りなどのミーティングを行っている。 | |
| | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | | 意思決定を尊重し、活動内容を児童から、立案してもらう機会を設けている。クッキングの料理内容から、盛り付け、買い出しの内容決め、役割分担なども自主的に出来るよう支援している。 | |
| | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | ○ | | | 季節や時期、期間などを考慮し、スケジュールを組んでいる。活動内容も一定化せず、平日で行える活動と休日を利用して個別の課題に応じた活動も取り組んでいる。 | |
| | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | | |
| | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | | 全職員で、毎日児童が利用前に事前ミーティングを行い、確認を行っている。 | |
| | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | | ○ | | その日、出勤していない職員には共有できるようにミーティングノートを作成し、その職員はそのノートを閲覧している。常にノートを確認することで振り返りできる状態にある。 | 支援終了後の振り返りなどの情報共有の時間は全体で行いたいため、次の日に取っているが、必要事由に関しては当日に共有できる仕組みの充実も考えていく。 |
| 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | | | | |

| | | | | | | | |
|--------------|----|---|---|--|---|--|---|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている | ○ | | | | |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している | ○ | | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | ○ | | | 個人情報の取り扱いには十分に配慮した上で、電話やFAXなどで、普段は情報共有を行っている。内容によっては、学校へのお迎え時などで、直接、連絡調整を行うなどしている。 | |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | ○ | | | 現在、ぶつちいさらだでは医療的ケアが必要な児童は利用していない。必要であれば、連絡体制を整えていきたい。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | ○ | | | | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | ○ | | | | |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | | | |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | ○ | | | | |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | ○ | | | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | | | 送迎時に直接話したり、電話連絡、連絡帳のコメント欄などで、児童の情報共有を行っている。都度、課題やニーズがあればアラインし、対応している。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | ○ | | ○ | 今年度、ペアレント・トレーニングの研修に職員が参加した。 | 今後は、研修を修了した職員が中心にペアレント・トレーニングの支援を行っていく予定である。 |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | | 利用契約時に、書類を作成し説明している。質問や問い合わせがあれば、直ぐに内容に対し応答している。 |
| 保護者への説明責任等 | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | | 日々の送迎時や保護者対応時などで、相談などがあれば、迅速且つ適切に応じている。必要であれば、その課題やニーズに対し、解決に向けた助言や支援をおこなえるよう努めている。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | | | 親子クリスマス会を開催し、保護者同士の交流の場を提供し支援した。同時に、普段聞けないような疑問や希望を聴き、支援に繋げている。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | | |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | | | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|--|--|--|
| | 35 | 個人情報に十分注意している | ○ | | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | その児童・保護者に合わせた情報伝達方法(会話・筆談・電話・メール連絡、写真などを用いた視覚支援等)を取り入れている。 | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わられた事業運営を図っている | ○ | | | 事業所単独では行っていないが、地域住民が参加できる行事に参加しており、そこで活動紹介や作品展示をしている。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | ○ | | | 各マニュアル策定および職員への周知は出来ている。今後、契約書、重要事項説明書と共に、誰でも閲覧できるよう準備する。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | | |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | | 権利擁護および虐待防止に関する外部研修は1~2名、内部研修は職員全員が参加しているが、内部での話し合いをもっと深めていきたい。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ | | | グループで身体拘束等に関する委員会が定期的に開催されています。これまで身体拘束を行ったことはない。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | | 利用前や利用中のモニタリングなどでアレルギーについては保護者に聞き取りを行っている。医師の指示に基づく対応等についても、今後必要に応じて実施していきたい。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | | 毎日のミーティングや月に数回行われる全体でのミーティング時に、事例を共有し再発防止に向けた検討を行っている。出席できなかった職員に関しては、ミーティングのノートに記載したり、書類を作成し回覧している。 |